

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第1回足助警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月29日（木） 午前10時から午後0時25分までの間 ----- 足助警察署講堂
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="text-align: center;">安藤 信之 会長      鳥居 千穂 会長代理 高橋善の進 委員      鈴木 春美 委員 佐藤 一道 委員      木浦 幸加 委員</p> <p style="text-align: right;">以上6名（定数6名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p style="text-align: center;">家田 署長                      澤田 副署長 安藤 会計課長              石川 生活安全課長 後藤 刑事課長              三浦 交通課長 近藤 地域課長              警備課長 警務課長代理</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="text-align: center;">なし</p>
諮 問 事 項 等	災害対策について足助警察署に望むこと
答 申 等 の 概 要	<p>安否確認を含めて、住民と連絡を密にできる体制についての方策          早期の正確な情報の把握と住民への伝達          ~ フェイクニュース等への対策 ~          被災地への巡回と声掛けの実施          巡回連絡時における各家庭の正確な情報の把握          避難方法の指導、火事場泥棒や性犯罪被害を防ぐための抑          止方策と防犯指導          避難経路や備蓄場所の周知          消防署との連携の更なる強化</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年6月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	署長挨拶
2	警察署幹部自己紹介
3	警察署協議会委員自己紹介
4	会長の選出並びに会長代理の指名
	委員の互選により、安藤委員を会長に選出し、会長は、鳥居委員を会長代理に指名した。
5	会長挨拶
6	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
7	前回の答申事項に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	中山間地域における安心安全なまちづくりについて
	(2) 答申事項
	安心安全に対する意識の高揚につながる広報の実施
	(3) 推進施策（関係課長説明）
	ア 生活安全課長説明
	○ 自主防犯活動の活性化支援
	○ 各種団体、事業者等と連携した防犯啓発活動
	○ あらゆる機会を通じた防犯広報の実施
	○ その他
	・防犯プレートの設置拡充
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
・まちの防犯診断活動	
・防犯インフラの整備の働き掛け	
イ 地域課長、交通課長説明	
○ 地域課員による巡回連絡の実施	
○ イベントや会合への参加	
○ 各種媒体の活用	
・広報誌による広報	
・SNS等による広報	
・支所だより等を通じた広報	
○ パトカーによる広報活動	
8 諮問（事務局説明）	
(1) 諮問事項	
災害対策について足助警察署に望むこと	
(2) 諮問事項の設定理由	
昨年6月に、岡崎市や豊川市を中心に豪雨災害、年初に、能登半島地震が発生し、自然災害による被害の甚大化が避けられない様相を呈し、今後、当県においては、南海トラフ巨大地震の発生が想定されている。	
被害軽減には、「自助」「共助」「公助」の三要素の備えが重要である。	
そして「公助」の一つである警察に対し、今後、高齢者の割合が高くなり、人口減少も予想される地域特性がある中、災害対策を地域住民と一緒に進めるにつき、各委員が望む災害対策を聞くため、諮問事項として設定した。	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
9 協議			
委員	<p>・ 災害直後は地域住民で何とかしなければならない。</p> <p>近くにいる駐在所の警察官にお願いすること、災害発生前に警察署にお願いしておくこと、少し落ち着いてからお願いしたいことなど状況を分けて、災害対策を考えてみたい。</p>		
委員	<p>・ 今回の諮問事項を読んで、いろいろと地元を見回してみると、あの橋が崩落したら、あの道が土砂崩れで通れなくなったら、あの家屋は倒壊しないだろうかと考える機会となった。</p> <p>電線や電話線が切れ、電気や電話が使えなくなると目視できる範囲以外の情報は入ってこない。</p> <p>早く現場の状況を警察には把握していただき、被災した住民に伝えてほしい。</p> <p>また、地域住民は、避難場所や備蓄場所が分からないと行くことができず、分かっていたとしても災害発生時は、どの道が通れるのが正確な情報が住民に届かない可能性がある。</p> <p>正確な情報を受け取れるようにしてほしい。</p> <p>地域住民と連携を密にとれる方策を考えてほしい。</p>		
委員	<p>・ 震災発生時は、駐在所の警察官が巡回して、いつもの顔が見られると安心する。</p> <p>幹線道路沿いの家屋に住んでいる人や避難所にいる人には、災害関連の情報は入ると思うが、孤立している場所は、情報が入らないので、そういった場所にも情報が入るように巡回時に声掛けをして</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨		
	ほしい。	
委員	・ 過去の大雨時の信号滅灯時は、早急に警察官が来て対応してくれ	
	たが、大規模災害となるとすぐに駆けつけてくれることは期待でき	
	ない。	
	自分たちでまずは、何とかしなければいけない。	
	道路の寸断で移動が困難だったり、携帯電話が使えなかったり、	
	連絡が途絶え、情報が入らない状態だと不安は募る。	
	また災害発生時は、避難所においても性犯罪被害が発生すると聞	
	くし、倒壊した家屋から貴重品が盗まれる被害も発生するとも聞く。	
	災害発生時にも取締りと犯罪抑止対策を行ってほしい。	
委員	・ 能登半島での震災をテレビで見ている、火事場泥棒の被害が発生	
	していることを知った。	
	人として非常に残念な気持ちになるが、災害時でもしっかりと取	
	締まりを行ってほしい。	
	情報が途絶する中で、フェイクニュースを始めとした、間違った	
	情報で不安をあおる行為を止めさせ、正確な情報を発信してほしい。	
	寺院の境内は広く、一般車両の緊急待機場所になり、建物は、遺	
	体の一時安置所や負傷者の一時避難所として使えるように豊田市と	
	協定している。	
委員	・ 被災時は着の身着のままでは逃げてくる。	
	貴重品等の多くは持ち出せないで、自宅付近のパトロールをお	
	願いしたい。	
	記録者	警務係長

